事業名	事業概要	平成16年度計画	平成16年度実績	所管局
人権が尊重される社会の形成				
) 性と生殖をめぐる健康支援(リプロダクティブ	・ヘルス / ライツ)			
ア・母子保健医療体制の整備及び相談	***************************************			
81 周産期母子医療体制の整備	妊娠合併症や新生児仮死などハイリスクの母体・胎児と新生児に一貫した総合的な周産期医療を提供する周産期母子医療センターなどの整備を進めるとともに、総合的な周産期医療体制を確立する。	2 1 施設	・周産期母子医療センターの整備 2 1 施設 NICU 186床 ・周産期医療施設等の整備	福祉保健局
		9 施設・周産期医療協議会の開催 7 回	3 施設 ・周産期医療協議会の開催 8 回	
		・多摩地域周産期医療連携強化事業 13施設 ・その他(周産期情報ネットワーク、周産期医療関係 者研修等)	・多摩地域周産期医療連携強化事業 13施設 ・その他(周産期情報ネットワーク、周産期医療関係 者研修等)	
135 小児救急医療体制の整備 新規 (H16年度新規掲載事業)	区市町村が実施する小児初期救急医療の整備に要する費用の補助や、全都における小児の二次救急医療体制の確保、子を持つ親に対する救急時の対処法等の普及啓発などの実施により、小児救急医療体制の整備を進める。	・小児初期救急運営費補助(H16年度新規事業) 平日夜間診療 2 1 地区	- 小児初期救急運営費補助(H16年度新規事業) 平日夜間診療 1 1 地区 - 小児初期救急医療施設等整備(H16年度新規事業) 施設整備 1 所	福祉保健局
		設備整備 3所 ・健やか小児救急応援事業 (H16年度新規事業) モデル実施 1 地区 ・休日・全夜間診療(小児)	設備整備 1所 ・健やか小児救急応援事業 (H16年度新規事業) モデル実施 1地区 ・休日・全夜間診療(小児)	
		全都60施設 72床/日 - 休日·全夜間参画医療機関施設整備費等補助(小児)(H16年度新規事業) 施設整備 1所設備 1所設備整備 1所	全都60施設 72床/日 - 休日・全夜間参画医療機関施設整備費等補助(小児)(H16年度新規事業) 施設整備 0所 設備整備 0所	
82 母子保健医療に関する相談事業	母と子の健康相談室 区市町村保健センター等が閉庁する休日・夜間の時間帯に、妊娠中の健康や生活など母と子の健康に関して保健婦等が相談に応じる。16年度からは子どもの健康に関する不安を身近なところで解消し、小児初期救急の前段階で安心を確保するため、相談時間を休日昼間にも拡充する。	設備整備 1 所 通年実施	設備整備 0 所 通年実施	福祉保健局
	SIDS電話相談 SIDS(乳幼児突然死症候群)などで子どもを亡くした家族 等の精神的支援を行うため、専門家が相談に応じる。	通年実施	通年実施	
	TOKYO子育で情報サービス 妊娠、子育で及び子どもの事故防止等に関する情報を365 日24時間、電話(音声自動応答システム)とファクシミリ により提供する。	通年実施	通年実施	
	東京都こども医療ガイド(平成15年10月~事業開始)	インターネットによる情報提供	インターネットによる情報提供	
83 医療費の助成等	・妊娠中毒症等医療費の助成 妊産婦の死亡原因となるとともに、出生児に対する影響 も著しい妊娠中毒症等にり患している妊婦が早期に適切 な医療を受けることを容易にするため、必要な医療費の 助成を行う。	36人 延べ60人(区部を除く)	34人 延べ51人(区部を除く)	福祉保健局
	- 入院助産 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により入 院助産を受けることができない場合、妊産婦に対し助産 施設において助産を行う。	実人員 846人 延べ 6,988人	実人員 895人 延べ 6,821人	福祉保健局
	・ 不妊治療費助成(平成16年度新規)	延べ 4,017人	延べ 1,640人	1

12 (2章)人権尊重-(2)

	事業名	事業概要	平成16年度計画	平成16年度実績	所管局
イ . 各	5年代に応じた健康支援及び性教育				
84 生涯を通じた女性の健康支援事業	上涯を通じた女性の健康支援事業	女性の健康支援のための知識の普及と、心身の健康に関する 相談指導や不妊に関する相談を行うとともに、相談・指導に 従事する者の養成・資質向上のための講習会や研修を行う。	・健康教育(講演会等) 18回	・健康教育(講演会等) 12回	
			·相談指導 通年	·相談指導 通年	
			·相談指導員養成 12回		
85 性	生感染症・エイズ対策	性感染症健康診断	5 , 4 5 0 件	梅毒血清反応検査 4,393件	福祉保健
		保健所で実施しているHIV検査にあわせて、希望者に対し		クラミジア抗体検査 4 , 3 8 6 件	
		て性感染症の検査を行う。検査時にカウンセリングを行 い、陽性者に対して治療を進める。		淋菌遺伝子検査 1,632件	
		性感染症普及啓発活動	15,000部	12,400部	
		パンフレットを作成し、性感染症の正しい知識の普及を 図る。			
		エイズ相談検診体制	・HIV検査	・HIV検査	
		エイズの早期発見、感染の潜伏化を防ぐためにHIVの抗体 検査を保健所で実施する。検診・相談を通じてエイズに関 する偏見のない社会づくりを目指す。保健所・病院では 対応できない夜間の無料検診機関(東京都南新宿検査・相 談室)を整備し、検診を実施する。			
			区保健所 3,000件		
			南新宿検査 8,400件 	南新宿検査・相談室 11,280件 計 21,594件	
06 7	エイズ対策普及啓発活動の強化	設全/で登権し、快診を実施する。 若年層に対する普及啓発として、同年代の仲間同士(=ピア)が一緒にエイズのことを考えながら、エイズ予防や感染者への偏見・差別をなくすための活動を保健所と協力しながら実施する。	 ・ピアエデュケーターの養成 15人	・ピアエデュケーターの養成 127人	福祉保健局
80			・スーパーバイザーの養成 3人		
				・ピアエデュケーターの派遣 26回	
87 骨粗しょう症予防対策事業	骨粗しょう症予防対策事業	閉経期以降に発症しやすいと言われている骨粗しょう症を早期に発見し、その進行を予防するため、骨粗しょう症検診を 行う。		3 3 地区	福祉保保
88 学校における性教育の改善・充実	学校における性教育の改善・充実	・「性教育の手引き(高校、盲・ろう・養護学校編)を改訂 し、具体的な単元指導計画、指導事例等についてまと め、各学校に配布し、性教育の工夫・改善に役立てる。	作成委員会設置 資料2,800部	作成委員会設置 資料4,000部	教育原
		・研修会等において、情報提供を行い、普及・啓発を進め、性教育を担当する教員の資質向上を図る。	・キャリアアップ研修 健康教育 (HIV)	・選択課題研修 体育・保健体育 (性教育)	
			・学校保健研修	・選択課題研修 学校保健 (感染症)	
			・学校指導(指導訪問)	·学校指導(指導訪問)	
89 薄	薬物対策の推進	覚せい剤等の薬物が女性をターゲットとして「ヤセ薬」・「ダイエット効果」と称されて密売され、女性の健康がおびやかされていることから、薬物の根絶と啓発に努める。		通常業務を通して実施	警視/
		1. カン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			

135は平成15年度以降の新規掲載事業であり、各々の体系の中に掲載した。

135:2-(2)-7 「小児救急医療体制の整備」(福祉保健局)